

2010年度 東海地区協議会研究会 図書館実務担当者研修会 ワーキングC 活動概要

テーマ	レファレンス・スキル:レファレンス・スキルの向上		
概要	実際的な実習や課題を通し、現場のレファレンス業務担当者のスキルアップをワーキングの目標とする。単なる座学ではなく、参加者が現場に研修の成果を持ち帰り、フィードバックできることを活動目標のひとつとする。		
講師	紅露 剛 氏	所属	南山大学図書館

事前活動	<ul style="list-style-type: none"> ●自己紹介(ML) 担当業務、経験年数等 ●事前課題・レポート提出(ML) ※各設問に解答用の簡単なテンプレートを用意 <ol style="list-style-type: none"> 1. 自館のレファレンス・サービスの現状および問題点の把握 2. 自館のレファレンス事例のピックアップ 3. 他館のレファレンス事例に対する回答例作成 4. お薦めレファレンスツール・リスト作成 5. 読書課題および感想レポート作成 (課題文献は指定されたレビュー文献に示された参考文献から各自選択) ●事前準備(MLほか) <ol style="list-style-type: none"> 1. 他館のレファレンス事例に対する回答例プレゼン準備 2. 情報交換, ネットワーキング 		
研修会当日	【報告】 事前活動報告と研修会での活動(予定)の紹介(八鳥委員)		
	【1日目】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 他館のレファレンス事例に対する回答例プレゼン、質疑応答(参加者全員) 2. レファレンスツール解説(講師) 3. 情報交換, ネットワーキング 		
	【2日目】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 前日の続き 2. 全体会報告用スライドの作成(主導:水谷氏 東海学園大学) 		
	【発表】 2日間のワーキング活動内容報告(報告者:水谷氏 東海学園大学)		
事後活動	<ul style="list-style-type: none"> ●最終成果物の共同作成 お薦めレファレンスツール・リスト統合版のリファイン ●フォローアップと情報交換 		
その他 (特記事項など)	<ul style="list-style-type: none"> ●参加対象者:実務経験を前提とするが、経験年数は問わない。主体的・積極的な参加姿勢を必要とする。 ●事前課題用の指定レビュー文献 研究文献レビュー:レファレンスサービスの新しい潮流 / 小田 光宏. カレントアウェアネス(283), 21-26, 2005-03-20 (http://current.ndl.go.jp/ca1555) ●研修当日のワーキング活動会場:愛知大学図書館1階セミナールーム 		

担当委員※	八鳥麻子	所属	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館
担当委員	秋田美穂	所属	愛知淑徳大学図書館
担当委員	紫藤針枝	所属	愛知工業大学附属図書館

※ワーキング責任者